

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

「特定健診・保健指導受診率」の目標達成 と 「治療放置群」の撲滅

事業全体の目標

「特定健診・保健指導受診率」目標達成率100%
「治療放置群」0%

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	健康推進委員会
--------	---------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	減量キャンペーン
保健指導宣伝	ジェネリック等の告知
保健指導宣伝	RIZAP講習会
保健指導宣伝	季刊誌（健康情報誌）の発行
保健指導宣伝	健康セミナー（旧睡眠講習会）
保健指導宣伝	在宅健康応援企画
疾病予防	つよい子キャンペーン
体育奨励	健康ウォーク
体育奨励	ウォーキングキャンペーン
予算措置なし	ホームページ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診＜被保険者＞
特定健康診査事業	特定健診＜被扶養者＞
特定保健指導事業	特定保健指導＜被保険者＞（事業所実施型）
特定保健指導事業	特定保健指導（初回完了型）＜被扶養者＞
保健指導宣伝	マイヘルスレポート
疾病予防	重症化予防（生活習慣病予防プログラム）
疾病予防	生化学検査（各種血液検査）
疾病予防	前立腺がん検査
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	巡回レディス健診
疾病予防	乳がん・子宮癌検診
疾病予防	胃がん検診
疾病予防	大腸がん検査
疾病予防	禁煙支援
疾病予防	メンタルヘルスカウセリング
疾病予防	家庭常備薬の斡旋
疾病予防	インフルエンザ補助金
疾病予防	歯科健診
その他	契約リゾート施設
予算措置なし	受診勧奨＜被保険者＞

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
職場環境の整備																					
予算措置なし	1	既存	健康推進委員会	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	シ	健保が実施する保健事業の報告・情報共有の場として活用	ア	安全衛生委員会での案内も含む	-	-	-	-	-	健保が実施する保健事業の報告・情報共有	【生活習慣改善意欲】 被保険者、2016年度の健診問診票において、生活習慣を改善するつもりが無いと回答した割合が、男女とも他健保を上回っている		
													全体年1回(11月)開催 別途健康診断・特定保健指導実施に個別に開催 追加案内がある場合 毎月15日の安全衛生委員会での案内を実施	全体年1回(11月)開催 別途健康診断・特定保健指導実施に個別に開催 追加案内がある場合 毎月15日の安全衛生委員会での案内を実施	全体年1回(11月)開催 別途健康診断・特定保健指導実施に個別に開催 追加案内がある場合 毎月15日の安全衛生委員会での案内を実施	全体年1回(11月)開催 別途健康診断・特定保健指導実施に個別に開催 追加案内がある場合 毎月15日の安全衛生委員会での案内を実施	全体年1回(11月)開催 別途健康診断・特定保健指導実施に個別に開催 追加案内がある場合 毎月15日の安全衛生委員会での案内を実施			全体年1回(11月)開催 別途健康診断・特定保健指導実施に個別に開催 追加案内がある場合 毎月15日の安全衛生委員会での案内を実施	
会議の開催件数(【実績値】13回 【目標値】平成30年度:-回 令和元年度:-回 令和2年度:-回 令和3年度:13回 令和4年度:13回 令和5年度:13回)全体会と個別の会議の実施件数												-					(アウトカムは設定されていません)				

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	2	既存	減量キャンペーン	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ,ケ	ちょこやせキャンペーンを開催、参加者・成績優秀者表彰 参加者：500円 成績優秀者3,000円 抽選で1名に1万円	エ	愛知連合会共同事業として実施	250	250	250	250	250	250	健康維持・増進、ヘルスリテラシーの向上	【運動習慣分析】 男女とも被保険者の運動習慣が無い割合は、他健保より上回っている
													募集1000名 目標：参加率80%以上	募集1000名 目標：参加率80%以上	募集1000名 目標：参加率80%以上	募集1000名 目標：参加率80%以上	募集1000名 目標：参加率80%以上	募集1000名 目標：参加率80%以上		
参加率(【実績値】85% 【目標値】平成30年度:86% 令和元年度:80% 令和2年度:80% 令和3年度:80% 令和4年度:80% 令和5年度:80%)												減量者率(【実績値】70% 【目標値】平成30年度:71% 令和元年度:70% 令和2年度:70% 令和3年度:70% 令和4年度:70% 令和5年度:70%)								
2,7	既存	ジェネリック等の告知	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ク,ス	・カード証発行時に専用シールを添付 ・該当者へ年4回の医療費通知と合わせて個別にジェネリックの通知書を送付 ・カード証発行時に専用シールを貼り、チラシもつけて渡す 広報誌に掲載。該当者へ年4回の医療費通知と合わせて個別にジェネリックの通知書を送付 ・広報誌にも掲載	ス	-	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	保険証発行時は随時実施 5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	保険証発行時は随時実施 5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	保険証発行時は随時実施 5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	加入者及び健康保険組合の医療費負担軽減	【後発医薬品使用状況】 2017年3月の後発医薬品数量割合は68.1%であり、他健保と比べ3.8ポイント高い状況
													5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信	5月、8月、11月、2月の医療費通知送付月に発信		
ジェネリック等の告知実施率、シールの貼付け実施(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)												後発医薬品数量割合(【実績値】68.1% 【目標値】平成30年度:70% 令和元年度:70% 令和2年度:70% 令和3年度:80% 令和4年度:80% 令和5年度:80%)*令和元年度80.4%								
2,5	新規	RIZAP講習会	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	3	キ,ク,ケ,シ	積極的保健指導対象者を優先として通知する。	ア,ウ	-	場所の確保・参加時のフォローアップとして看護師が関与 事業所・労組からも案内を実施	岩倉工場で実施	他工場での実施	他工場での実施	東京工場で実施 (令和元年度は姫路・福岡で実施)	他工場での実施	他工場での実施	ヘルスリテラシーの向上	【生活習慣病分析】【治療放置群分析】 【CKDステージマップ】 2015、2016年度ともに高血圧、脂質異常症、2型糖尿病の順に高い状況 健診とレセプトを突合した治療放置群分析では有所見後の治療放置者の内、高リスク者が一定人数存在
													他工場での実施	他工場での実施	他工場での実施	他工場での実施	他工場での実施			
対象者への通知実施率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)積極的保健指導対象者を優先として通知する。												運動習慣実施割合(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:34.3% 令和元年度:20% 令和2年度:20% 令和3年度:23% 令和4年度:24% 令和5年度:25%)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合								
1,2,3,4,5,7,8	既存	季刊誌(健康情報誌)の発行	全て	男女	0～74	加入者全員,定年退職予定者	3	ク	季刊誌に同封する形で、各種の情報提供を実施 自宅への郵送とする(単身赴任者は職場にも送付)	ス	-	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	健康寿命の延伸を目的とした健康リテラシーの向上	【生活習慣改善意欲】 被保険者、2016年度の健診問診票において、生活習慣を改善するつもりが無いと回答した割合が、男女とも他健保を上回っている
													年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行	年4回の発行		
季刊誌の発送回数(【実績値】4回 【目標値】平成30年度:4回 令和元年度:-回 令和2年度:-回 令和3年度:4回 令和4年度:4回 令和5年度:4回)												生活習慣改善意欲(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:198% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:23% 令和4年度:24% 令和5年度:25%)特定健診の生活習慣改善意欲に関する問診項目で「意志あり」の回答割合								
1,2,5	新規	健康セミナー(旧睡眠講習会)	全て	男女	16～74	被保険者	3	ア,ク,ケ,シ	-	ア,ウ	-	講習会として集合形式での実施予定	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	医療専門職を主とした各事業所の担当者に集客してもらい、参加者の意識変容を促す。	【生活習慣改善意欲】 被保険者、2016年度の健診問診票において、生活習慣を改善するつもりが無いと回答した割合が、男女とも他健保を上回っている
													実施事業所の健康課題に則したテーマの健康教室の実施(新型コロナウイルスの感染状況により実施判断)	実施事業所の健康課題に則したテーマの健康教室の実施する	実施事業所の健康課題に則したテーマの健康教室の実施する	実施事業所の健康課題に則したテーマの健康教室の実施する	実施事業所の健康課題に則したテーマの健康教室の実施する	実施事業所の健康課題に則したテーマの健康教室の実施する		
参加者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-人 令和元年度:30人 令和2年度:-人 令和3年度:30人 令和4年度:40人 令和5年度:50人)												生活習慣改善意欲(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:44% 令和2年度:-% 令和3年度:23% 令和4年度:24% 令和5年度:25%)運動や食生活等の生活習慣を改善の意志あり								
												2,000								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
2,5	新規		在宅健康応援企画	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ア,エ	在宅中の運動不足・間食増の対策としてWEBセミナーを開催(年間開催)スマートフォンから申し込み、先着100名/月で実施 対象者は動画視聴でポイントが付与される仕組み 最大 月5回 1回100ポイント付与 健保から月1回以上で達成ポイントとして付与2,000ポイント	ア	(株)カゴメ・(株)キリン様のサービスを利用	-	-	-	4月より通年実施	参加状況により継続実施判断	参加状況により継続実施判断	在宅中の運動不足・間食増の対策	【運動習慣分析】 男女とも被保険者の運動習慣が無い割合は、他健保より上回っている
参加者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-人 令和元年度:-人 令和2年度:-人 令和3年度:30人 令和4年度:30人 令和5年度:30人)最大 月100人だが目標は30名/月												運動習慣実施率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:23% 令和4年度:24% 令和5年度:25%)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合								
-												間食割合(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:21% 令和4年度:20% 令和5年度:19%)夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。								
疾病予防	2,5,8	既存	つよい子キャンペーン	全て	男女	1～9	被扶養者,基準該当者	1	ス	対象被扶養者に歯磨き実施日にシールを貼ることで楽しく歯磨き習慣をつけさせる	ス	-	-	-	300	-	-	年少児の歯磨き習慣化とかせ予防	【歯科疾患分析】 歯科医療費総額、受療率は男女被保険者其他健保と比較して高い	
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												0-9歳の虫歯の罹患者数減少(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:12人 令和元年度:5人 令和2年度:5人 令和3年度:5人 令和4年度:5人 令和5年度:5人)-								
体育奨励	2,5	既存	健康ウォーク	一部の事業所	男女	0～74	加入者全員	1	ア,ス	健保連ウォーク	エ	健保連により企画されたコースを歩く	-	-	200	200	200	ウォーキング参加を促し、運動習慣をつける	【運動習慣分析】 男女とも被保険者の運動習慣が無い割合は、他健保より上回っている	
実施案内の通知(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												運動習慣実施割合(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:50% 令和元年度:1% 令和2年度:5% 令和3年度:23% 令和4年度:24% 令和5年度:25%)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合								
2,5	既存		ウォーキングキャンペーン	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ	スマートフォンを活用し総合順位による評価し商品を配布(上位50名)	エ	ウォーキングキャンペーンの実施	年2回の実施	年2回の実施	年2回の実施	通期開催に変更スマートフォンを活用し総合順位による評価し商品を配布(上位50名)	通期開催に変更スマートフォンを活用し総合順位による評価し商品を配布(上位50名)	通期開催に変更スマートフォンを活用し総合順位による評価し商品を配布(上位50名)	健康維持・増進	【運動習慣分析】 男女とも被保険者の運動習慣が無い割合は、他健保より上回っている
通知実施率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												運動習慣実施割合(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:95% 令和元年度:93% 令和2年度:91% 令和3年度:23% 令和4年度:24% 令和5年度:25%)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合								
予算措置なし	2,5	新規	ホームページ	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ	運動・食事系のコンテンツを提供・スマートフォンでも閲覧可能 加入者への健康保険の各種申請についてはQ&Aを記載し事務効率化を図る	ス	-	-	-	-	方針検討	公開 月2回程度健康に関する情報提供の実施	月2回程度健康に関する情報提供の実施	加入者への健康保険の各種申請書のダウンロード 保健事業等に関するタイムリーな情報提供の実施	該当なし
情報提供の実施回数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-回 令和元年度:-回 令和2年度:-回 令和3年度:0回 令和4年度:24回 令和5年度:24回)健康関連の情報提供回数(健康コラム)												アクセス数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-件 令和元年度:-件 令和2年度:-件 令和3年度:0件 令和4年度:300件 令和5年度:300件)-								

個別の事業

特定健康診査事業	3	既存	特定健診<被保険者>	全て	男女	40～74	被保険者	3	シ	定期健診結果の確実な収集	ア,イ,ウ,コ	定期健診受診状況の確認。未受診者をチェックし全員の結果を収集出来る様、事業所に働きかける	受診率96%	受診率96%	受診率96%	受診率96%	受診率96%	受診率96%	特定健診の受診率向上、健康状態の把握による疾病の予防および早期発見	【特定健診受診状況】 2017年度:目標達成率が85.6% 目標92.7% 実績:79.4%
未受診者リストの定期作成、任意継続者への受診案内(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)該当者全ての定期健診データを受け取る 任意継続被保険者は別途、被扶養者と同様の特定健診を案内する												特定健診(被保険者)受診目標達成率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)積極的保健指導対象者を保健指導や受診につなげる 目標96%								
-												特定健診(被保険者)受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:96% 令和4年度:96% 令和5年度:96%)積極的保健指導対象者を保健指導や受診につなげる 目標96%								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連																					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																											
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度																				
アウトプット指標												アウトカム指標																												
3	既存(法定)		特定健診<被扶養者>	全て	男女	40～74	被扶養者,基準該当者,任意継続者	1	ア,ク,ケ	対象者データを業者へ提供し、DM発送	キ,ケ	巡回レディース健診、特定健診予約代行、被扶養者調査時の収集	目標達成率100%	目標達成率100%	目標達成率100%	案内を実施	巡回レディースの自己負担を減少し対象者の増加を目指す	巡回レディースの自己負担を減少し対象者の増加を目指す	被扶養者の特定健診受診率の向上、健康状態の把握による疾病予防及び早期発見	【未把握群のパターン分析】 被扶養者では、2016年度の特定健診未受診者169人の内、77.5%あたる131人は2015年度も特定健診を受診していない																				
<p>該当者への受診案内の送付実施割合(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)巡回レディース健診と特定健診予約代行サービスの同時自宅郵送再募集後も申込をしない者宛にお願いと説明の電話連絡</p>												<p>特定健診(被扶養者) 受診率(【実績値】41.8% 【目標値】平成30年度：60% 令和元年度：65% 令和2年度：70% 令和3年度：50% 令和4年度：60% 令和5年度：70%)</p>																												
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導<被保険者>(事業所実施型)	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	3	ア,エ,オ,ク,ケ	工場勤務者は事業所内で遠隔での保健指導を実施 営業担当者は個人で場所を確保し実施 積極の対象者のうち希望者はモデル実施を選択可能 モデル実施参加者には減量達成時のインセンティブを実施	ア,ウ,エ,コ	保健指導は外部委託 モデル実施は愛知連合会の共同事業として実施	東京工場 福岡工場	工場	工場	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	特定保健指導の実施率向上により、生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善による労働力強化と医療費適正化、後期高齢者支援金の加算回避と減算獲得による健保財政への貢献	【特定健診受診状況】 2017年度：目標達成率が85.6% 目標92.7% 実績：79.4%																				
																					<p>基準該当者への通知実施率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)</p>												<p>特定保健指導実施率(【実績値】29% 【目標値】平成30年度：55% 令和元年度：55% 令和2年度：55% 令和3年度：55% 令和4年度：60% 令和5年度：60%)</p>							
																					4	新規	特定保健指導(初回完了型)<被扶養者>	全て	女性	40～74	被扶養者,基準該当者	1	オ,ク,コ	巡回レディース健診実施時に該当候補者への初回面談を実施	ケ	-	-	-	-	-	-	-	-	特定保健指導の実施率向上により、生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善による医療費適正化、後期高齢者支援金の加算回避と減算獲得による健保財政への貢献
<p>基準該当者指導実施率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)</p>												<p>特定保健指導実施率(【実績値】29% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：55% 令和2年度：55% 令和3年度：55% 令和4年度：55% 令和5年度：55%)</p>																												
保健指導宣伝	3,4	新規	マイヘルスレポート	全て	男女	40～(上限なし)	被保険者	1	エ	個人の状況に応じた指導案内書を作成 特定保健指導の参加勧奨も兼ねる	ス	-	-	-	-	-	-	-	-	個人ごとへの健康改善目標の提示による行動変容 特定保健指導の参加勧奨																				
																					<p>レポート送付割合(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)40歳以上の被保険者全員への送付</p>												<p>特定保健指導実施率(【実績値】29% 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：55% 令和4年度：60% 令和5年度：60%)</p>							
																					疾病予防	4	新規	重症化予防(生活習慣病予防プログラム)	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	1	イ,エ,カ,キ,ク,ケ	対象者抽出を依頼し、高リスク者の上位15名を上限として対象者を選定し案内を実施 6か月間でのフォローアップ実施	ウ,エ,ケ	外部への委託にて実施	(被扶養者)高リスク者9名に実施	0	1,000	1,000	1,500	2,000	2,500
<p>指導開始者に対する終了者の数(完遂率)(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)</p>												<p>ハイリスク者のリスク減少率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：198% 令和元年度：30% 令和2年度：30% 令和3年度：20% 令和4年度：20% 令和5年度：20%)G・Hランクの参加者の中で、ランクが1つ以上下がった方の割合。生活習慣病重症化リスク、外部の委託業者にて算出をしている評価項目。5年以内の脳梗塞、心筋梗塞の発症率、および生活習慣病の新規治療開始の発症率を表したものの</p>																												

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
3	既存(法定)	生化学検査(各種血液検査)	全て	男女	35~74	被保険者	3	シ	法定血液検査に付加して実施	ア,イ,ウ	定期健診と同時に実施 有所見該当者は事業所の医療職から受診勧奨を実施	-	-	-	眼底検査を追加	眼底検査を追加	眼底検査を追加	疾病の早期発見・早期治療	【生活習慣病分析】【治療放置群分析】【CKDステージマップ】 2015、2016年度ともに高血圧、脂質異常症、2型糖尿病の順に高い状況 健診とレセプトを突合した治療放置群分析では有所見後の治療放置者の内、高リスク者が一定人数存在
受診率(【実績値】96.7% 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												要医療該当者の受診勧奨(【実績値】- 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-							
3	既存	前立腺がん検査	全て	男性	50~74	被保険者	3	イ,シ	法定血液検査に付加して実施(50歳以上対象)	ア,イ,ウ,コ	定期健診と同時実施	-	-	100%実施	100%実施	100%実施	前立腺がんの早期発見・早期治療	【ガン分析】 悪性腫瘍罹患患者の診療開始年齢を分析した結果、30代後半からがん患者が上昇傾向にあることが判った	
受診率(【実績値】97.3% 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												要医療者の受診勧奨(【実績値】- 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-							
2,3,4	既存	人間ドック	全て	男女	35~74	加入者全員	1	ス	定期健診を兼ねる場合は事業主にて結果のフォローアップを実施	ス	-	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	疾病の早期発見、早期治療、健康意識の醸成	【未把握群のパターン分析】 被扶養者では、2016年度の特定健診未受診者169人の内、77.5%あたる131人は2015年度も特定健診を受診していない
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%) 全社メールにて実施												有所見者の受診勧奨率(【実績値】- 【目標値】平成30年度:80% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%) 定期健診該当者のうちフォローアップ実施率							
3	既存	脳ドック	全て	男女	18~74	被保険者	1	オ,ケ	2年に1回費用の半額補助 一部事業所は会社の医療職経由で申し込みし結果のフォローアップを実施	ス	-	受診し易い環境整備	受診し易い環境整備	受診し易い環境整備	受診し易い環境整備	受診し易い環境整備	受診し易い環境整備	疾病の早期発見、早期治療、健康意識の醸成	【生活習慣病分析】【治療放置群分析】【CKDステージマップ】 2015、2016年度ともに高血圧、脂質異常症、2型糖尿病の順に高い状況 健診とレセプトを突合した治療放置群分析では有所見後の治療放置者の内、高リスク者が一定人数存在
受診者数(【実績値】25人 【目標値】平成30年度:25人 令和元年度:25人 令和2年度:25人 令和3年度:25人 令和4年度:25人 令和5年度:25人)-												有所見者の受診勧奨率(【実績値】- 【目標値】平成30年度:1% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%) 委託先の健診結果にて通知							
3	既存	巡回レディス健診	全て	女性	20~39	被扶養者	1	キ,ク	委託業者に依頼し巡回バスにより指定場所にて健診	ス	-	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	疾病の早期発見・早期治療	【ガン分析】 悪性腫瘍罹患患者の診療開始年齢を分析した結果、30代後半からがん患者が上昇傾向にあることが判った
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												要医療者の受診勧奨(【実績値】- 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%) 委託先の健診結果にて通知							
3	既存	乳がん・子宮癌検診	全て	女性	18~60	被保険者	1	ウ	年初に補助の案内(基準該当者は全額健保負担) 乳がんは40歳以上はマンモグラフィ40歳未満はエコー 子宮頸がんは全員対象 子宮体癌は50歳以上	ア,キ	支店:定期健康診断と同時に実施 工場:契約施設の斡旋	受診期間制限の撤廃	年初の通知 通期の募集 契約施設の新設	年初の通知 通期の募集 契約施設の拡大	年初の通知 通期の募集	年初の通知 通期の募集	年初の通知 通期の募集	各拠点の受診率のばらつきをなくす	【ガン分析】 悪性腫瘍罹患患者の診療開始年齢を分析した結果、30代後半からがん患者が上昇傾向にあることが判った
案内の実施回数(【実績値】- 【目標値】平成30年度:1回 令和元年度:1回 令和2年度:1回 令和3年度:2回 令和4年度:2回 令和5年度:2回) 春1回、秋1回を予定												受診率(【実績値】57% 【目標値】平成30年度:60% 令和元年度:58% 令和2年度:59% 令和3年度:60% 令和4年度:61% 令和5年度:62%)-							
3	既存	胃がん検診	全て	男女	35~74	被保険者	3	シ	胃・十二指腸透視(バリウム検査)	ア,イ,ウ	定期健診と同時実施	-	-	定期健診と同時実施 (バリウム禁忌者等はABC健診でも実施可能に変更)	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	胃がんの早期発見・早期治療	【ガン分析】 悪性腫瘍罹患患者の診療開始年齢を分析した結果、30代後半からがん患者が上昇傾向にあることが判った	
特定健診(被保険者)受診率(【実績値】95.6% 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)-												要医療有所見者の受診勧奨(【実績値】- 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%) 胃も含めた全体での有所見者への受診勧奨実施割合 マイヘルスレポートでの情報提供							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画										
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
有所見者の面談実施率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)												有所見者の医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：50% 令和4年度：50% 令和5年度：50%)					要医療者のうちの受診割合抽出した対象者のうち面談実施率						

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他